

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (安芸太田町立筒賀中学校)

- ① 教科等 総合的な学習の時間 ② 学年 第1学年
- ③ 単元名 ふるさとの再発見
- ④ 単元の目標 地域の自然や文化とそこにかかわる人々とのかかわりを探究する学習を通して、地域の魅力や地域の人々の思いや願いを学び、自己の生き方を考えることができるようにする。
- ⑤ 単元の計画 (全 32 時間)

学習活動	学習活動
<p>1 課題の設定 (8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校時代の地域学習を振り返り、地域の良さと課題をまとめる。 ・ 地域の方から地域に対する思いを聞き、自分たちとの相違点を明確にする。 ・ 地域の魅力を再発見するための課題を設定する。 <p>2 情報の収集 (6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査活動を行う。 	<p>3 整理・分析 (9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査結果をまとめ、「地域の魅力を伝える新聞」を作成し、中間発表をする。 <p>4 まとめ・表現 (9)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 本時 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間発表の内容を見直し、改善する。 ・ 最終発表をする。 ・ 活動を振り返る。

- ⑥ 本時の目標 中間発表で出た質問や意見に対して、各自で改善策を考え、分かりやすく伝える。
- ⑦ 学習の流れ

〔言語活動の充実〕

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 本時のねらいと学習の流れを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中間発表で出た質問や意見を受けて改善策を考えよう。 ○ 自分の考えを、聞く人に分かりやすく伝えよう。 	<p>◇ 探究の過程のどこを学習しているか確認させる。</p>	<p>・ 改善策を考え、聞く人に分かりやすく伝えている。〔学習方法〕(付箋・行動観察)</p>
<p>2 本時の活動の見通しをもつ</p>	<p>◇ 前時の中間発表で、指摘を受けた点を確認し、「地域の魅力がもっと伝わる新聞にしたい」という意欲をもたせる。</p>	
<p>3 改善策を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各自が考えた改善策を付箋紙に記入する。 ○ 意見を交流してまとめる。 <p>実験結果は、表でまとめた方が視覚的にわかりやすいよ。</p> <p>お年寄りも見るので表は大きく入れたいね。この記事の位置を変えよう。</p>	<p>◆ 改善策が思いつかない生徒には、誰にどういう目的で見てもらおう新聞かを再確認させる。 (例)「天上の明水のことをたくさんの人に知ってもらい、有名にしたい」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〇〇新聞</p> <p>1 実験結果の表現の工夫</p> <p>改善策</p> <p>2 もっと水のすばらしさを伝える・・・</p> </div>	
<p>4 まとめた意見を発表する。</p>	<p>◇ 地域の魅力を伝えるという視点で交流させる。</p>	
<p>5 振り返りをする。</p>		

設定した言語活動を通して育てたい力

- 情報を整理・分析し、価値基準を明確にして、思考・判断・表現することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 目的に応じた思考ツールを活用し、指摘を受けた点を項目にしてKJ法で整理させることにより、各自のもつアイデアを類型化させる。